

## 第5期（令和4年度）事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人橋梁を未来に生かす技術集団

## 1 事業概要

成立初年度である2018年度より活動を開始し、近隣自治体からの受注を主目標としてきましたが、2022（令和4）年度も自治体からの受注は達成できず、（株）パスコ社からの受注のみとなりました。コロナ禍によりNPOとしての活動範囲が限られ、また自治体や大学関係者との直接折衝も困難な状況が背景にあります。

## 2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名（定款に記した事業）	事業の内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（単位千円）
橋梁維持管理計画の作成・照査事業	長寿命化計画策定・見直し業務	(A)2022.1 から 2023.3 まで (B)山形県庄内町 (C)3人	コンサル タント会 社	3,100
橋梁調査・診断事業	なし	なし	なし	ゼロ
橋梁補修・補強設計事業	なし	なし	なし	ゼロ
橋梁補修・補強施工計画事業	なし	なし	なし	ゼロ
橋梁補修・補強施工管理事業	なし	なし	なし	ゼロ
法人活動の広報事業	なし	なし	なし	ゼロ

以上

第5期 活動計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科目	金額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費等			
受取会費	13,000		
賛助会員受取会費	0		
受取会費計		13,000	
2. 事業収益			
事業収益	3,100,000		
事業収益計		3,100,000	
3. その他収益			
受取利息	29		
雑収益	0		
		29	
経常収益計			3,113,029
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 業務委託費	1,445,456		
(2) その他経費	739,519		
事業費計		2,184,975	
2. 管理費			
(1) 業務委託費	463,637		
(2) その他経費			
旅費交通費	98,320		
備品費	15,374		
事務用品費	53,419		
通信費	129,171		
印刷費	0		
租税公課	39,893		
図書費	0		
地代家賃	552,000		
水道光熱費	40,438		
雑費	63,471		
リース料	159,800		
会議費	42,428		
諸会費	16,364		
支払保険料	0		
支払利息	0		
その他経費計	1,210,678		
管理費計		1,674,315	
経常費用計			3,859,290
当期正味財産増減額			△ 746,261
前期繰越正味財産額			4,530,679
次期繰越正味財産額			3,784,418

## 特定非営利活動法人 橋梁を未来に生かす技術集団

## 第5期 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金・預金	4,512,779		
未収金	0		
前払費用	55,330		
仮払金	0		
仮払消費税	0		
流動資産合計		4,568,109	
2.固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	175,000		
(3)投資その他の資産	46,000		
固定資産合計		221,000	
資産合計			4,789,109
II 負債の部			
1.流動負債			
役員借入金	0		
前受会費	0		
前受金	0		
仮受消費税	0		
未払費用	1,004,691		
流動負債合計		1,004,691	
2.固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,004,691
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		4,530,679	
当期正味財産増減額		△ 746,261	
正味財産合計			3,784,418
負債及び正味財産合計			4,789,109

## 特定非営利活動法人 橋梁を未来に生かす技術集団

### 財務諸表の注記

#### 1.重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

##### (1) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産は、定額法により償却しています。

##### (2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

#### 2.固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	当期増加	当期減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
無形固定資産						
ソフトウェア	1,500,000	0	0	1,500,000	△ 1,325,000	175,000
投資その他の資産						
敷金	46,000	0	0	46,000	0	46,000
合計	1,546,000	0	0	1,546,000	△ 1,325,000	221,000

#### 3.借入金の内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
役員借入金	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

#### 4.役員及び近親者との取引の内容

役員との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引
(活動計算書)		
事業費・業務委託費	1,445,456	900,000
合計	1,445,456	900,000

なお、近親者との取引はありません。

## 特定非営利活動法人 橋梁を未来に生かす技術集団

## 第5期 財産目録

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
手元現金	38,459		
千葉銀行普通預金	4,474,320		
前払費用	55,330		
流動資産合計		4,568,109	
2.固定資産			
無形固定資産			
ソフトウェア	175,000		
投資その他の資産			
敷金	46,000		
	221,000		
固定資産合計		221,000	
資産合計			4,789,109
II 負債の部			
1.流動負債			
役員借入金	0		
未払費用	1,004,691		
流動負債合計		1,004,691	
負債合計			1,004,691
正味財産			3,784,418

# 監査報告書

令和5年5月19日

特定非営利活動法人  
橋梁を未来に生かす技術集団  
理事長 中村 一樹 様

監事 森下 昭吾



私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人橋梁を未来に生かす技術集団の第5期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の業務監査および会計監査を実施した。

業務監査(理事の業務執行に関する監査)にあたっては、第5期の総会、理事会議事録および重要な契約書類等の閲覧、必要と認める質問を行った。

会計監査(法人の財産の状況に関する監査)にあたっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問を行った。

監査の結果、法人の業務は法令および定款に基づき適正に執行され、会計の処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記期間に係わる事業報告書が、法人の業務執行の状況を適正に示し、計算書類が令和5年3月31日における財産の状況を適正に表示していることを認める。

以上

## 第6期（令和5年度）事業計画書

資料 ⑦

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人橋梁を未来に生かす技術集団

### 1 事業実施の方針

今年度は、コロナ禍も落ち着きつつあり、活動を本格的に再開する予定である。

中長期的には地方自治体を対象に、橋梁補修・補強設計事業と維持管理計画に関する技術面でのアドバイザー業務に貢献することを主たる目標として、これに関連する業務の受注を目指すこととする。今年度の事業計画としては、地方自治体の橋梁の補修ならびに補修設計に関連する業務をコンサルタント会社等から請けることとして、当社の技術ノウハウを保持・活用する。

### 2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業の内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事 者の 予定 人数	受益予定者の範囲
橋梁維持管理計画の作成・照査事業	橋梁維持管理計画を作成または既存計画を照査する	年 1件	山形 県内 他	1件当 り3人	事業発注自治体 コンサルタント会社
橋梁調査・診断事業	橋梁点検報告などを照査し健全性を診断・判定する	年 1件	山形 県内 他	1件当 り3人	事業発注自治体 コンサルタント会社
橋梁補修・補強設計事業	自治体作成の維持管理計画に従って当該橋梁の適切な補修・補強設計を行う	随時	千葉 県内 他	1件当 り2人	事業発注自治体 コンサルタント会社
橋梁補修・補強施工計画事業	自治体作成の維持管理計画に従って当該橋梁の適切な補修・補強施工計画を行う	随時	千葉 県内 他	1件当 り2人	事業発注自治体
橋梁補修・補強施工管理事業	当該橋梁の補修・補強工事の施工管理を行う	随時	千葉 県内 他	1件当 り2人	事業発注自治体
法人活動の広報事業	法人ホームページを充実して活動内容を紹介、事業に対する啓発を自治体に行う	随時	千葉 県内 他	1件当 り2人	事業発注自治体 コンサルタント会社 建設会社

以上

## 第6期（令和5年度）の活動予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人橋梁を未来に生かす技術集団

(単位：円)

科目	金額	
I 収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
		0
2. 受取寄附金		
受取寄附金	0	
		0
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
		0
4. 事業収益		
長寿命化計画策定他	3,000,000	
補修・補強設計事業他	1,000,000	
		4,000,000
5. その他収益		
受取利息	0	0
雑収益 (仮受消費税)	0	
		0
収益計		4,000,000
II 費用		
1. 事業費		
(1) 業務委託費	2,400,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	80,000	
ソフトウェア(サブスク)	460,000	
減価償却費	175,000	
その他経費計	715,000	
事業費計		3,115,000
2. 管理費		
(1) 業務委託費	432,000	
(2) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費		
人件費計	0	
(3) その他経費		
旅費交通費	80,000	
事務用品費	15,000	
通信費	50,000	
図書費	120,000	
公租公課	0	
地代家賃	552,000	
水道光熱費	40,000	
雑費	50,000	
リース料	244,000	
会議費	50,000	
支払利息	0	
その他経費計	1,201,000	
管理費計		1,633,000
費用計		4,748,000
税引前当期正味財産増減額		-748,000
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		-748,000
前期繰越正味財産額		3,784,418
次期繰越正味財産額		3,036,418